

# YMCAでの学びを仕事に



**和智 章宏 さん**

社会福祉科 2018年入学

第32回社会福祉士国家試験 合格

(現) 鎌倉市社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター



**石川 尚樹 さん**

精神保健福祉科 2020年入学

第23回精神保健福祉士国家試験 合格

(現) 地域包括支援センター  
社会福祉士

## 自己紹介

他分野で働きながら、大学で学んだ人間関係に関わる勉強を継続してました。その知識を活かせる場を求め、55歳で実現できるのは福祉の現場であると考えました。国家試験の合格率がとても良く、スクーリング会場を戸塚と本厚木で選ぶことができたのでYMCAに決めました。入学してからはクラスメイトとつながり、**実習中には情報交換や励ましあうこと**で、厳しい実習を乗り越えることができました。その時の仲間とは現在も交流が続いています。

## 入学を決めたきっかけ

職場の先輩から**教育訓練給付金**を活用できること聞き、通信教育であれば働きながら資格取得がしやすいと考え入学しました。学んでいく支援者としての**守備範囲を広げる**事ができました。入学前は精神疾患の方への支援の苦手意識を感じていましたが、現場経験がある先生の授業や精神科病院と生活支援センターでの現場実習を通して、**病気の知識や制度、地域生活継続する為のサポート方法**について幅広く学ぶ事ができました。

地域の専門職として住民の方々との**信頼関係を築いていくために**、例えば傾聴、共感のような**専門的なスキル**や自分の心の動きを客観的に意識・認識する自己覚知は、日ごろの業務の中でとても重要です。



住民の方との  
地域アセスメント活動

## 現場で取り組んでいる資格を活かした業務

現在、地域包括支援センターでは高齢者の相談だけでなく、同居する**精神疾患のある家族支援**を求められることがあります。本人の思いやつまずき、生活歴から**アセスメントを深める**事ができて、地域生活継続のアイデアを専門機関に共有しながら連携できるようになりました。



YMCAは、本当に人を大切にしている学校だと思います。YMCAの「**ともに生きる**」という理念に基づいていたのだと思います。この理念は今の仕事に活かしています。

## YMCAで学んだことで今に活かしていること

地域生活を続ける上で、**居場所や役割取得**に関しては、**どの世代にも共通したテーマ**だと理解ができました。



資格取得は**人生を大きく飛躍させるチャンス**です。この通信課程は、単に資格を取るだけでなくが目標ではなく、**社会福祉士の専門性、特に人間関係の在り方**について、深く学べます。

また、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義に「実践に基づいた専門職であり学問である」と書かれているように、**取得後も学びの継続**が必要です。ぜひ、社会福祉士として一緒に学んでいきましょう。

## 入学を検討している人に一言



『**詩かぬ種は生えぬ**』

踏み出す事で得られる経験は、何よりも強いと私は思います。

資料請求や問い合わせは下記までご連絡ください。

YMCA健康福祉専門学校 〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-16-19 TEL 046-223-1441  
<https://www.yokohamaymca.ac.jp/health/> 小田急小田原線「本厚木駅」徒歩4分